



入谷小校長室だより 顔晴れ！入谷っ子

2020年1月8日

No. 11

TEL 46-2655

FAX 46-2654

学校教育目標：夢に向かって、主体的に学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成

目指す児童像：《 ーかしこくー ーたくましくー ーやさしくー 》

☆いつもまなぼうとする子 ☆りりしくたくましい子 ☆やさしくたすけあう子

心も体も元気な子どもを育成するために 家族みんなではやね・はやおき・あさごはんを実践しよう!!

文責：校長 高橋 有

新年を迎えて思うこと ー 勇気と元気 ー

新年、あけましておめでとうございます。

あらためて、昨年中の保護者、地域の皆様方のご協力・ご支援に感謝申し上げます。

冬休みの間も東日本大震災からの復興に尽力されている方々の姿に触れる機会がありました。各地域の防災対策が進められている中、昨年の入谷地区の台風被害を踏まえ、本校も安全教育や災害対策を見直しています。私たちは、将来の具体的なイメージをもって教育を進めなければならないと感じております。



さて、1月10日は、110番の日、世界最初の地下鉄が開通（ロンドン）、国際連合の第1回総会開催、11日は女性参政権が認められた日というように、過去の出来事を調べてみるといろいろな新しいことが始まった日でもあります。

何事も新しく始めるときには、「勇気」が必要です。新しい世界に踏み出す勇気です。成功するだろうかという不安と戦う勇気です。人生に自動ドアはないのですからドアを開けてみようという勇気をもつことが必要です。

入谷小学校3つの目指す児童像を達成しようとするときも、子供たちには勇気がとても必要なのだと思います。

その勇気は、いったいどこから生まれてくるのでしょうか。はじめから持っているのでしょうか。それとも特別なトレーニングを積んで身に付けるのでしょうか。

こんな話を聞いたことがあります。人間は、生まれてくるときに「勇気」「元気」をもって生まれてくるというのです。すべての子供たちに、嫌いなことも進んで学ぶ、責任をもって最後まで諦めず努力することができる「勇気」と「元気」があるはずです。

さらに、世の中のものは、使えば使うほど減っていきませんが、この「勇気」と「元気」だけは、不思議なことに使えば使うほど増えていくし、使わなければ減っていく性質があるのです。

子供たちが、その一步を踏み出してほしいと思います。小さいけれど確実な一步を一人一人が勇気をもって踏み出せるように教職員一同、励まし支援してまいります。本年も本校の教育活動に対し、ご理解とご支援をお願いいたします。



《今日、第3学期始業式で私から子供たちに話したことです。》

『一年の「節目」を大切に！』



2学期の終業式に、私と3つの約束をしました。
覚えていますか？
それは、「冬休みだからこそできるお手伝いをする事」
「昔から伝わる行事や遊びを体験すること」「病気や事故、
けがのない楽しい冬休みを送ること」です。
この約束をしっかりと守れたからこそ、今日、皆さんが元気に登校してきたこと
に結び付いていると、私はうれしく思っています。

さあ、いよいよ今日から3学期の生活が始まります。新しい年を迎え、皆さん
はどんな年にしたいと思っていますか。

日本人は、12月を師走と言い、年内に仕事や約束事を急いで片付けてしまわ
なければという気持ちになります。そして、1月から新たな事を始めるという、
「節目」を大切に作る習慣をもっています。

私が小学校の頃、担任の先生から「年の初めに『節目』を大事にきなさい」と
教えられ、「節目」について説明をいただきました。それは、「1本のまっすぐ伸
びている竹には、節があり、節があることで風が吹いて大きくゆれても、強い雨
が降って曲がっても倒れない。人間も生きていくには、困難なことがたくさんあ
るけれど、竹の節と同じように、一年一年を『節目』にして、真っ直ぐに強く、
健やかに伸びていきなさい」という話で、とても印象に残っています。

皆さんも、この新年という大切な「節目」に、その意味を踏まえて新しい目標
を立て、実行していこうと誓う機会にしてほしいと思います。

竹の節の話のように、目標には、困難なことがあっても乗り越えていくような
ものが大切です。また、少し頑張ればやれそうな目標も作るとよいと思います。
一人で2つか、3つぐらいの頑張りの違う目標を立てておくと、長い一年間を
頑張れるし、一年の終わりに頑張った自分をほめることもできると思うのです。

しかし、人間には誰でも弱いところがあって、後でやればよいとか、この次に
考えればとかいうように、やらなければならないことを先延ばしにしがちです。

是非、この時期に一年の目標や計画ができたなら、日記帳でも、ノートでも、習
字としてでも、形はそれぞれでよいので書いてみましょう。書いたら自分だけの
ものにしないで、家族や先生、友達などにも見せましょう。宣言して、実行しな
ければならないという気持ちに、自分をさせてみましょう。きっと今年は、充実
した年になること間違いなしです。

短い三学期ですが、次の学年につながるような学期にしてほしいと思います。

《豆知識・・・干支について》

2020年の干支は、ねずみ。十二支の1番目で「子」と書きます。
十二支は、植物が生まれてから成長して枯れていくまでの過程を表し
ているという説があるそうです。この説では、十二支の始まりである
「子」は「種の中に新しい生命が生まれた状態＝命の始まり」の状態
であり、中間の「辰」「巳」で成長のピークを迎え、その後、「亥」の
「枯れた後、種子の中に生命の力が閉じ込められている状態＝次に備えての終焉」に向かうまでの
流れを表しているとのこと。つまり、子年は、「命の始まり」という意味をもち、変化を求めて新
しい事にチャレンジするのによい年になると言われています。

謹賀新年



【貢献ウェブ～お役立ち旬情報より～】

元号が令和になって最初の新年を、干支で一番手の「子年」で迎え、さらに、今年は東京オリ
ンピックが開催される記念の年でもあります。もちろんこれはただの偶然ですが、私はこの偶然を発
見してなんだかワクワクしています。何か始めたいと思っている方は、これを機に挑戦してみると
良いかもしれませんね。